

「サイクルツーリズムにおける観光コンテンツの造成・実証事業」レポート

2021年3月10日

(一社)佐渡観光交流機構

1. 業務内容

本業務は、一般社団法人佐渡観光交流機構が実施する「小木港周辺におけるシェアサイクルを活用した観光コンテンツ造成・実証事業」における観光コンテンツ造成・実証事業のレポートである。

2. 調査概要

実証にあたり下記の通り調査を実施し、調査員からアンケートを回収した。

■期間：2021年2月28日、3月3日

■コース：小木海岸コース 全長：17.8km 獲得標高：359m 最大標高差：194m
(佐渡観光交流機構「佐渡サイクリングマップ」より)



当コースは小木港発着で佐渡特有の海岸線の景観や、古くからの町並みが残る宿根木、外国人観光客に人気の佐渡太鼓体験交流館など豊富な観光資源があるものの、起伏が多く体力に自信のない方にはハードルが高い。E-バイク導入によって、より幅広い層の観光客が当コースを楽しめることが期待されるが、実際、本調査におけるサイクリング初心者の満足度は非常に高かった。

■使用自転車：南佐渡観光案内所に配備予定のE-バイク（パナソニック社製 XU1）

・対応身長：159～178cm

・「ECO」「AUTO」「HIGH」の3段階のアシスト強度を設定可。

各モードでのバッテリー消費量等を評価するため、調査員を自転車経験や体力に応じてグループ分けをした。振り分けは以下の通り。

- ・エキスパート(3名) → アシスト無し
- ・ファン(5名) → ECOモードで走行
- ・初心者・未経験者(5名) → AUTOモードで走行
- ・普段スポーツをしない(3名) → HIGHモードで走行



■調査員：16名（男性13名 / 女性3名）

年齢					
20代	30代	40代	50代	60代	不明
3	6	1	2	3	1

30代が最も多いが幅広い年齢層にご協力頂いた。

出身地				
佐渡	佐渡島外	中国	香港	ドイツ
9	4	1	1	1

佐渡出身者を中心に3名の海外出身者も交え、多様な意見を得られる構成となった。

サイクルスポーツ経験年数				
0年	1～5年	6～10年	11年以上	不明
6	3	3	3	1

サイクルスポーツ未経験者が最も多かった。

E-バイクの導入は初心者や体力のない方に対して訴求力があると考えられるので、未経験者の意見を多く得られたことは成果となった。

3. 評価

- ・本調査では、「佐渡サイクリングマップ」(佐渡観光交流機構)に準じて6か所のチェックポイント(A～F)を設定し走行した。
- ・各チェックポイントにおいて3項目(「バッテリー残量」「体力」「ロケーション」)の記録・評価とコメントを調査票に記入して頂いた。(「体力」「ロケーション」は、1～7の7段階評価)
- ・調査当日のコンディション
 2月28日：【天候】晴れ 【気温】9.4℃(スタート時) / 10.5℃(ゴール時)
 3月3日：【天候】晴れ 【気温】3.1℃(スタート時) / 3.0℃(ゴール時)

以下、調査票から得られたデータやコメントを基に下記3項目に分けて評価・考察する。

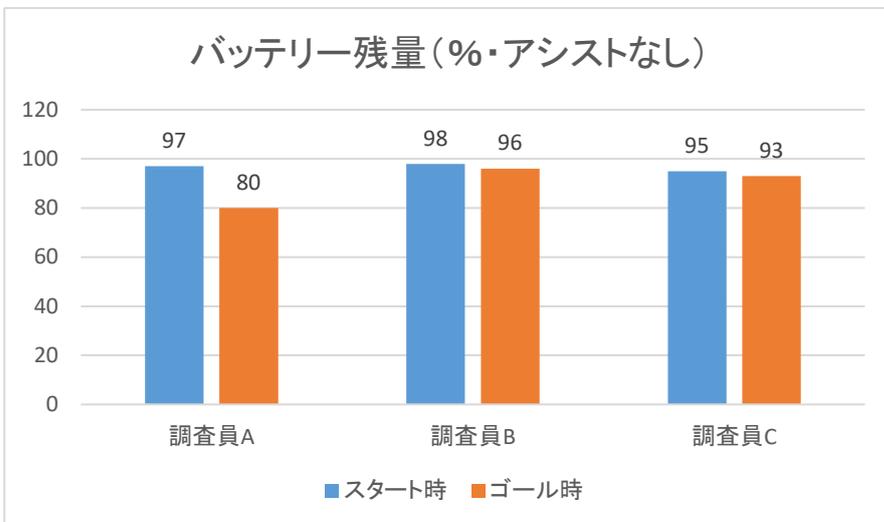
- ①E-バイクの性能・体力面
- ②走行コース
- ③外国人調査員の評価

①E-バイクの性能・体力面

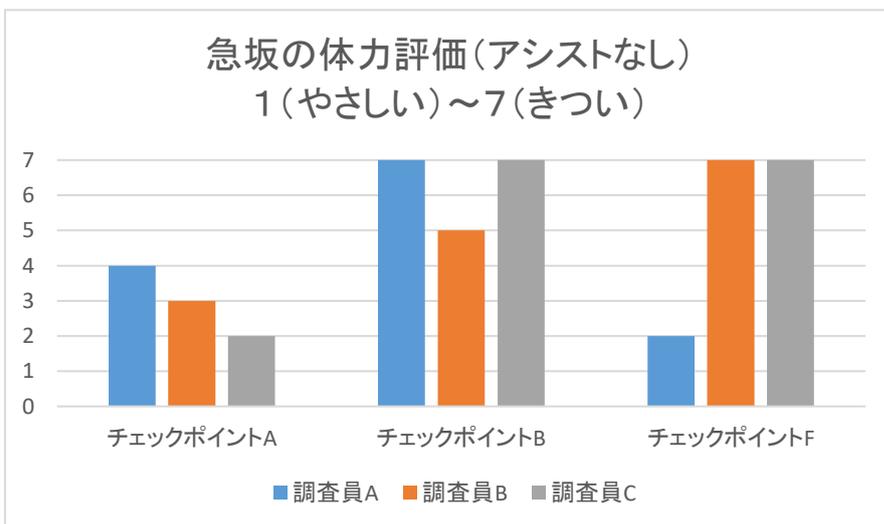
・E-バイクのバッテリー性能とアシストによる疲労軽減効果を評価するため、上記の4グループ(アシストなし、ECOモード、AUTOモード、HIGHモード)ごとに調査票を基に検討する。

・ここでは、スタート時とゴール時の「バッテリー残量」と、急な上り坂があるチェックポイントA・B・Fでの「体力評価」をみる。

■アシストなし(3名)



・調査員Aのみ急登でアシストを使用したため17%消費したが、他の2名は全く使用しなかったため2%の消費のみ。



・ポイント平均値

A地点 3 / B地点 6.3 / F地点 5.3

・坂が急なB地点とコース終盤のF地点では3名中2名が最も厳しい「7」を付けた。

⇒自転車自体が24.5kgと重いため、アシストなしでは大きな負担になる。

・調査員AはB地点で「7」を付けたが、F地点ではアシストを使用していたため「2」という評価になった。

⇒アシストによって大きく疲労が軽減されたことが分かる。

(調査票コメント)

○A地点

・アシストoffでもギアが大きくて走れる。

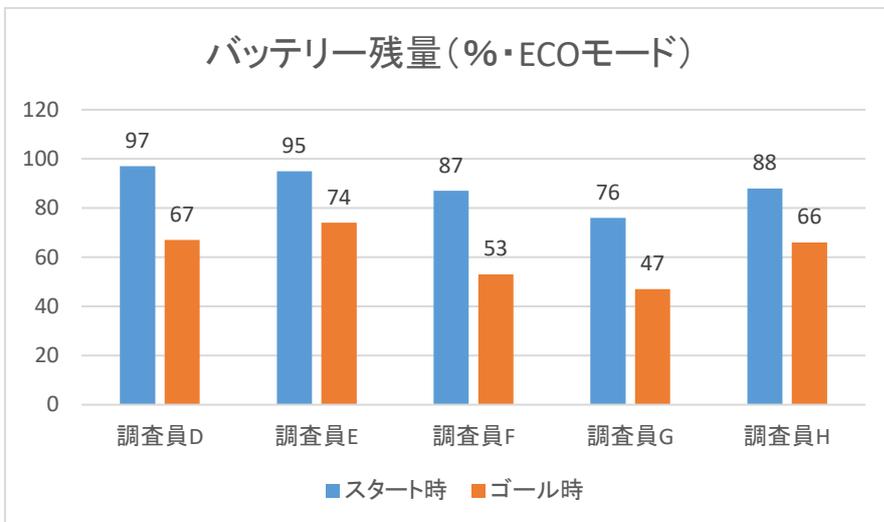
○B地点

・矢島の坂はつらい。

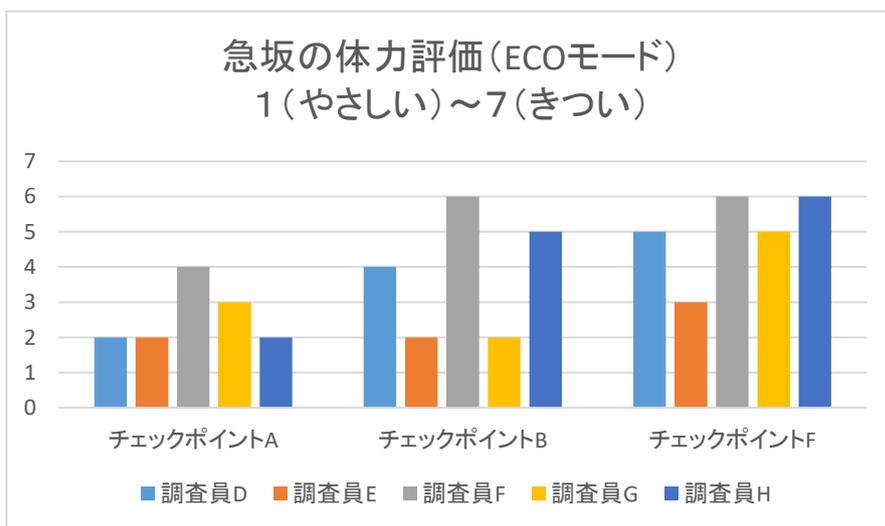
・上り坂、アシストなしはかなりつらいです。

- ・あの坂を普通に登れるのはすごい！アシストの威力ですね。
- F地点
- ・AUTOモード(アシストあり)なら問題なしです。
- ⇒E-バイクに搭載されている9段階の変速に対する高評価がみられた。

■ECOモード(5名)



- ・バッテリー消費量
- 平均27.2% / 最大30% / 最小21%
- ⇒当コースを走行するのに十分なバッテリー消費量。



- ・ポイント平均値
- A地点 2.6 / B地点 3.8 / F地点 5
- ・より坂が急なB地点とコース終盤のF地点で疲労度が高くなるが、「7」を付ける調査員はおらず、アシストによる効果と考えられる。

(調査票コメント)

- A地点
- ・体力問題なし。
- ・登りもアシストのおかげで快適。
- B地点
- ・元小木を出る坂がきつくて、ECOでは脚にくる。
- ・ギアを下げれば大丈夫。

・アシストの威力を感じる。

○F地点

・HIGHモードでないと体力がきつい。

・ECOモードだと坂道がきつい。AUTOでいい感じ。

・長い坂だとECOモードだと息が上がる(気持ちのいい疲労感)。

⇒アシスト効果に対する肯定的な意見が多くみられる。

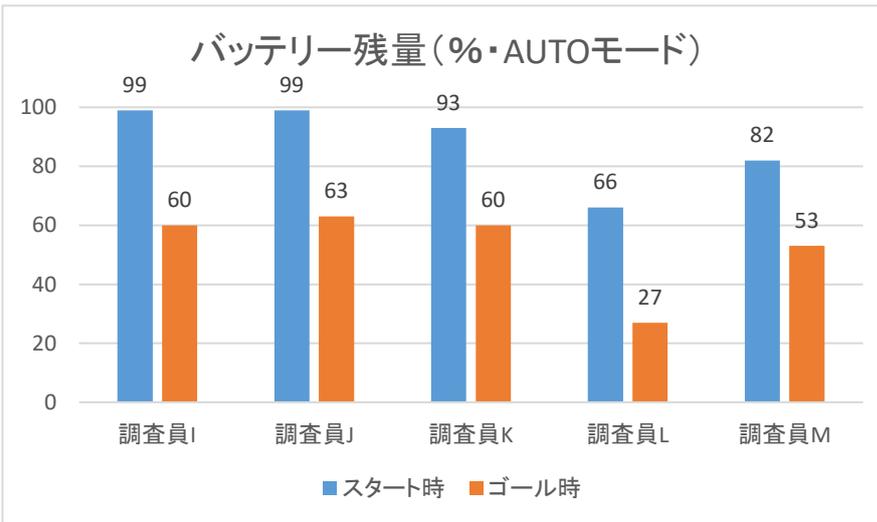
⇒アシストと自転車自体の変速を併せて使うことで、一定程度の傾斜・距離の上り坂に対応できることが分かる。

⇒傾斜・距離が一定以上になるとECOモードのアシストだけでは不十分だと見受けられる。

今回、多くの調査員が急坂ではAUTOやHIGHモードに切り替えて走行したが、バッテリー消費量は最大でも30%であった。

当コースを走行するには十分余裕があるので、アシストモードを適宜切り替えながら走行するのが良いだろう。

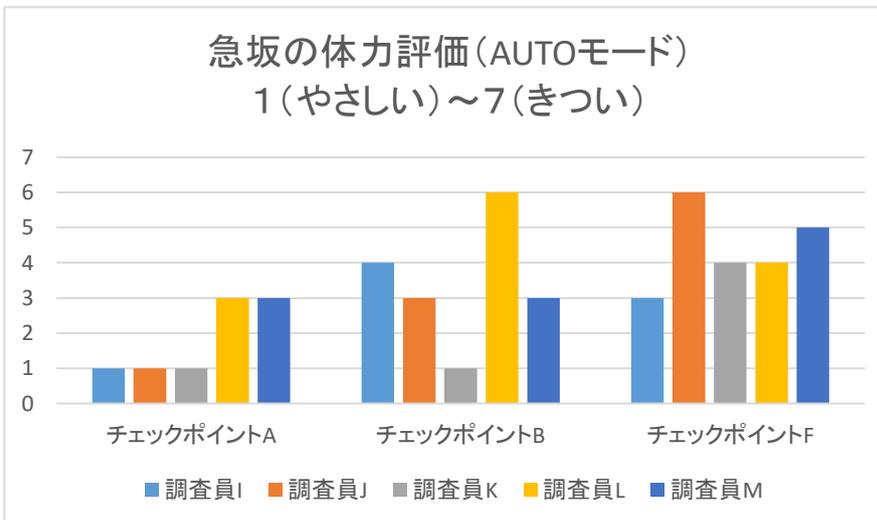
■AUTOモード(5名)



・バッテリー消費量

平均35.2% / 最大 39% / 最小29%

⇒当コースを走行するのに十分なバッテリー消費量。



・ポイント平均値

A地点 1.8 / B地点 3.4 / F地点 4.4

・A地点とB地点で最もやさしいの「1」評価が複数みられた。
「アシストなし」「ECOモード」では「1」評価が無かったので、AUTOモード以上に設定することで大きく疲労軽減効果があると考えられる。

(調査票コメント)

○A地点

- ・登りも軽快。
- ・思いのほか快適。

○B地点

- ・矢島経島から登りもサクサク。
- ・元小木からの上りはアシストHIGHにしなないときつかった。
- ・急坂もガンガン上れる。
- ・上り坂がきついが、ギアを1にすればなんとかOK。

○F地点

- ・ダラダラ坂がすこしきつめ。バッテリー一気に減る。
- ・登りはHIGHを使用。バッテリーの減りが気になった。
- ・坂がかなりきつい。

⇒アシストの効果に対する肯定的な意見がみられる。

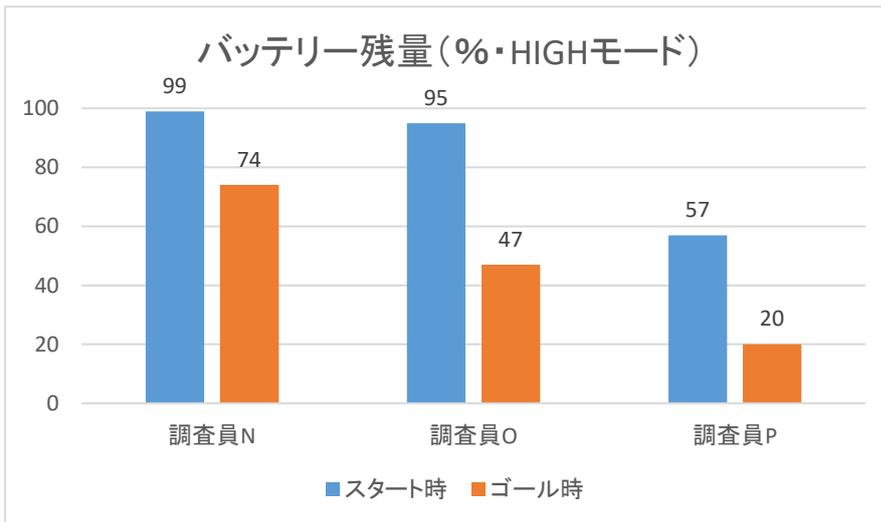
⇒急坂もアシストと自転車自体の変速を併用することで対応できている。

⇒AUTOモードのアシストでも不十分と感ぜられるところもあるようだが、適宜HIGHモードに切り替えることで対応できている。

⇒バッテリーの減りを懸念するコメントが散見される。上り坂で急激にバッテリー残量が減ることで不安を感じる可能性がある。

AUTOモードのバッテリー消費量は最大39%であり、当コースを走行するには十分なので事前にその旨を伝えることで不安を解消できると思われる。

■HIGHモード

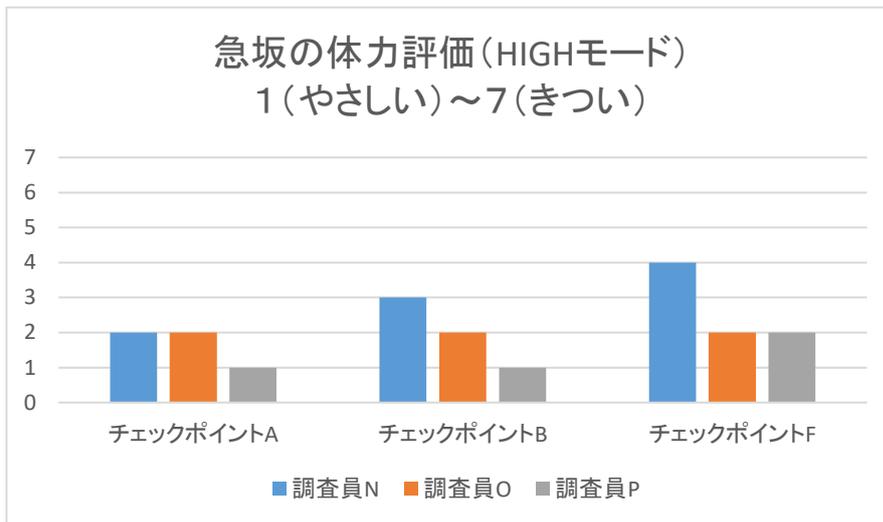


・バッテリー消費量

調査員Nのみ、大容量バッテリーを利用。25%消費。

平均 42.5% / 最大 48% / 最小 37% (調査員O・P)

⇒当コースを走行するのに十分なバッテリー消費量。



・ポイント平均値

A地点 1.6 / B地点 2 / F地点 2.6

・最も上り坂が長く体力的に厳しいF地点でも、ポイント平均値が「2.6」と非常に低い
(F地点平均値 アシストなし: 5.3 / ECOモード: 5 / AUTOモード: 4.4)。

⇒HIGHモードによって大きく疲労軽減されたことが分かる。

(調査票コメント)

○A地点

- ・坂道があるけど軽く上れる。いい感じです。
- ・上り坂多く、ちょっとだけ脚の筋肉使う。

○B地点

- ・急な坂道があってもきつくない。楽しい、欲しくなる自転車。
- ・かなり急な坂も簡単に上れる。ギアの切り替えが大事。

○F地点

- ・長い急な坂でも楽。上り坂も楽しめる。
- ・上りは楽々。

⇒サイクルスポーツ初心者で普段あまり運動をしない方にHIGHモードで走行して頂いたが、そのような方々でもほとんど負担を感じることなく急坂を上ることができた。

⇒「上り坂も楽しめる」とのコメントから、アシストによって体力的に楽になり景観や会話を楽しむ余裕が生まれるなど、より満足度の高い観光体験に繋がることが期待される。

◇まとめ・コース全体を通して

(調査票コメント)

- ・スリープモードを忘れるとアシストが切れるので注意。
- ・HIGHモードであれば後半の上り坂も楽に走れて良い。
- ・アシストがこんなに楽だとは思いませんでした。
- ・アシストがあると楽だと思ったほどではなかった。

■平均バッテリー消費量

平均バッテリー消費量			
アシストなし	ECOモード	AUTOモード	HIGHモード
7.0%	27.2%	35.2%	42.5%

・最もアシスト強度の大きいHIGHモードでもバッテリー消費量が42.5%であり、全長17.8kmの当コースには十分なバッテリー性能である。

一方、40%以上バッテリーを消費するという事なので、利用前にしっかりと充電されていることが重要である。

・上り坂区間では急激にバッテリー残量が減ることがあり、利用者が不安を感じる可能性があるため、利用前に十分なバッテリー性能を備えている旨を伝えるべきだと思われる。

■急坂の体力評価平均値

急坂の体力評価平均値(1~7の7段階評価)				
	アシストなし	ECOモード	AUTOモード	HIGHモード
A地点	3	2.6	1.8	1.6
B地点	6.3	3.8	3.4	2
F地点	5.3	5	4.4	2.6
平均	4.9	3.8	3.2	2.1

・アシスト強度が上がるほど平均値は下がっており、アシストが疲労軽減に寄与していることが分かる。

・HIGHモードの効果は特に大きく、普段あまり運動をしない方であっても長く急な坂を難なく上ることができる。HIGHモードであれば長い坂もほとんど脚に疲労を感じることなく上れるというコメントもあった。

⇒当コース(17.8km)であればバッテリー容量も十分なので、利用者には積極的にHIGHモードを薦めて良いと思われる。

・ECOモードとAUTOモードでは、HIGHモードほど劇的な疲労軽減を感じることはないようだが、E-バイクに搭載されている9段階変速と併用することで一定程度の急坂まで対応できることが分かった。

⇒より長い距離を走行する場合は、ECO・AUTOモードを基本に走行し、必要な場面でのみHIGHモードを利用するなどしてバッテリーを温存することが可能である。

・アシスト機能によって、従来であれば一緒に行動することが難しい方々(体力差等の理由で)でも行動を共にできるので、家族旅行や幅広い年齢層のグループの観光でも利用できる。

・楽に走行できることで景観や上り坂自体を楽しむ余裕が生まれるなど、利用者にとってより良い体験・思い出になると思われる。

■コース全体を通しての体力評価平均値

コース全体の体力評価平均値(1~7の7段階)			
アシストなし	ECOモード	AUTOモード	HIGHモード
4.3	3	2.8	2

・上記、急坂の体力評価同様、アシストを使用することで疲労軽減に繋がっている事が見て取れる。

②走行コース

■概要

- ・小木海岸コース 全長:17.8km 獲得標高:359m 最大標高差:194m
(佐渡観光交流機構「佐渡サイクリングマップ」より)
- ・火山活動の影響を受けた小木から沢崎まで約16kmの海岸線は「佐渡小木海岸」として国の天然記念物に指定され、独特の変化に富んだ美しい景観が広がっている。小木半島各地には火山活動により形成された隆起波蝕台や枕状溶岩などが点在し、佐渡ジオパークの見どころが多数存在する。
- ・複雑に入り組んだ海岸線は透き通るような美しい海を楽しめるだけでなく、たらい舟による「磯ねぎ漁」が今も行われているなど、佐渡の生活風土も垣間見ることができる。

・本調査では、「佐渡サイクリングマップ」に準じて6か所のチェックポイント(A~F)を設定した。

チェックポイントは以下の通り。

- A: 矢島経島
- B: 琴浦入り口
- C: 宿根木
- D: 長者ヶ橋
- E: 沢崎鼻灯台
- F: 佐渡太鼓体験交流館

・各チェックポイントにおいて調査員に「ロケーション」を1~7の7段階で評価して頂いた。以下、各チェックポイントごとに調査票等を基に見どころや注意箇所などをまとめる。(各情報は2021年3月9日時点)

■スタート~チェックポイントA(矢島経島)

- ・距離:2.5km
- ・走行時間:11分(2月28日/3月3日両日とも)
- ・ロケーション評価平均値(良い1~7悪い):2.5

(調査票コメント)

- ・海潮寺に立ち寄れるといい。
- ・矢島経島への下り坂で振動がすごい。急で危ない・怖い。運転しにくい。(同意見複数)
- ・佐渡名物のたらい舟があるのが良い。
- ・矢島経島の景色がいい!

⇒矢島経島の景観は高評価だが、手前の下り坂で危険を感じる方が多かった。

○見どころ・ポイント

- ・矢島経島

たらい舟体験ができる人気スポット。調査員からも景色が良いとのコメントがあった。元小木の隆起波蝕台としてジオサイトの一つになっている。

Tripadvisorでの評価も高く、口コミ数は63件。景色ときれいな水が高評価。



・海潮寺

本堂の「御所桜」は順徳上皇お手植えとされ、国の天然記念物に指定されている。開花時期は4月下旬から5月上旬。

・おぎの湯

発着点から5分ほどのところに入浴施設があるため、汗を流して行程を終えることができる。暑い時期には嬉しい。

○注意箇所

- ・調査票コメントにもあるように、矢島経島へと下る道が急で狭いため注意が必要。また滑り止めの凹凸により振動もあり、慎重に自転車を操作する必要がある。
- ・スタート後すぐに通過する小木商店街は路上駐車と車通りが多いため走行注意。

■チェックポイントA～チェックポイントB(琴浦入り口)

- ・距離: 1.6km
- ・走行時間: 6分(2月28日) / 4分(3月3日)
- ・ロケーション評価平均値(良い1~7悪い): 3.9

(調査票コメント)

- ・矢島の坂はつらい。(同意見複数)
- ・田んぼの景色が良い。
- ・道路が走りやすい。

⇒坂が陰しく、眺めもあまりないのでポイントは伸びなかった。



○見どころ・ポイント

・虫谷の入り江

小さな入り江だがエメラルドグリーンの海を見るため多くの人を訪れている。Google mapsで37件の口コミがあり、ポイントも4.4と高評価。あまり知られていないスポットだけに、ガイドツアーなどで訪れると喜ばれるのではないかな。



・琴浦洞窟

佐渡の「青の洞窟」として知られ、カヤックツアーが開催されているが、徒歩でも見ることができる。自転車を降りて歩くことはサイクリングツアー中のアクセントになり効果的なので、ツアー等観光途中の立ち寄り先に適している。

○注意箇所

・矢島経島からの上り坂が非常に急なのでバランスを崩しやすい。観光客自動車の往来も多いところなので要注意。

■チェックポイントB～チェックポイントC(宿根木)

- ・距離：1.4km
- ・走行時間：5分（2月28日/3月3日両日とも）
- ・ロケーション評価平均値（良い1～7悪い）：1.8

(調査票コメント)

- ・田んぼロケーションOK！
- ・宿根木の下りが気持ちいい。海が見えてくる景色がいい。(同意見複数)
- ・見どころがたくさんあり時間が経つのが早い。
- ・宿根木の海がきれい。景色が最高。ロケーション最高。(同意見複数)
- ・たらい舟も食事もできる。
- ・自転車＋宿根木・千石船など観光施設組み合わせのコースを作ると売れるかも。
- ・集落に下りるところの坂は車がいると危ない。

⇒宿根木に至る田んぼの風景、海が見えてくる気持ちよさの評価が高い。

⇒自転車と観光施設を組み合わせたコースやプランを求める声がある。

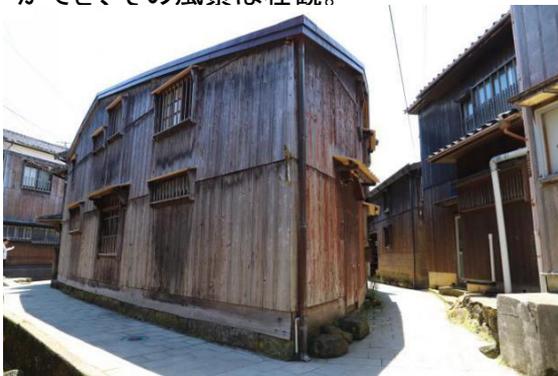
⇒歴史・文化があり、食事もできるなど国内旅行者から外国人観光客まで幅広く楽しめる。

○見どころ・ポイント

・宿根木集落

北前船業で栄えた集落で、100以上の民家が密集する町並みは国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されている。たらい舟体験や飲食店もあり、立ち寄り先として理想的。

また、ジオサイトに指定されている海岸の隆起波蝕台では隆起した溶岩の上を歩くことができ、その風景は壮観。



・佐渡國小木民俗博物館

南佐渡の漁業や船大工の道具など民俗資料とともに、宿根木で建造された千石船を当時の版図を基に復元した「白山丸」も展示されている。実際に千石船内に入ることができるなど、歴史に興味のある人には非常に魅力的。



○注意箇所

・人気の観光地なので車の往来が多く注意が必要。特に集落に入る前後の坂道は見通しが悪い。

■チェックポイントC～チェックポイントD(長者ヶ橋)

・距離：2.9km

・走行時間：12分(2月28日) / 10分(3月3日)

・**ロケーション評価平均値(良い1～7悪い): 1.5**

(調査票コメント)

- ・長者ヶ橋がきれい。橋からの眺めがいい。(同意見複数)
- ・田んぼは田植え～稲刈りの時期まで景色が良さそう。
- ・海が透明で素晴らしい。
- ・ロケーションが一番良い。
- ・コーヒーを飲みながらゆっくりしたい。

⇒長者ヶ橋からの眺めが素晴らしく高評価。

⇒ゆっくりしたいという意見もあり、ガイドツアーなどの際にはこのあたりの眺めの良い場所でお茶休憩を挟むのも良いだろう。

○見どころ・ポイント

・長者ヶ橋

トイレもあり休憩場所に最適。橋から眺める透明な海の景観が素晴らしい。たらい舟漁が今も行われており見られることもある。



○注意箇所

・ひらけた見通しの良い区間なので、車に注意して走行すれば問題ない。

■チェックポイントD～チェックポイントE(沢崎鼻灯台)

- ・距離: 1.4km
- ・走行時間: 5分(2月28日) / 4分(3月3日)
- ・ロケーション評価平均値(良い1～7悪い): 1.8

(調査票コメント)

- ・砂利道もストレスなく走れる。
- ・オフロードはちょっと...
- ・下り基調で楽しい区間。楽に景色を楽しめる。(同意見複数)
- ・灯台からの眺めが良い。ロケーションが良い。(同意見複数)
- ・夕日スポット。
- ・岩場の景色が壮観。
- ・端まで来ると達成感がある。

⇒灯台からの海と岩場の景色が好評。下り基調で走りやすいことも高評価に繋がった。
⇒車道から灯台に入る砂利道では肯定的意見(タイヤが太くて安心して走れる)と否定的意見(危ない)の両方がみられた。

○見どころ・ポイント

・沢崎鼻灯台

小木半島の先端に立つ、佐渡一の高さを誇る灯台(24.2m)。灯台下に広がる岩の地形は火山活動によって形成された枕状溶岩でジオサイトの一つ。平らな岩の上では岩のりが採れ、地域の名産になっている。

灯台から眺める雄大な海の景観が人気でGoogle Mapsには65件の口コミがある。夕日スポットとしても評判。



・万畳敷

沢崎鼻灯台から北へ1.5kmほどのところにある。溶岩が隆起してできた平らな地形があり、タイミングが合えばウユニ塩湖のような景色が見られると話題で訪れる人が増えている。大佐渡の山々を見ることが出来る。

Google Mapsでも25件の口コミがあり知名度が上がっていることが分かる。

時期が合えばたらい舟を使った磯ねぎ漁の風景を見ることが出来る。



○注意箇所

- ・気持ちよく走れる区間なのでスピードの出しすぎに注意。
- ・灯台に入る砂利道はバランスを崩しやすいので自転車から下りの方が無難と思われる。
- ・灯台下に広がる溶岩台地にも下りることができるが、足元に注意が必要。

■チェックポイントE～チェックポイントF(佐渡太鼓体験交流館)

- ・距離：3.8km
- ・走行時間：21分(2月28日) / 19分(3月3日)
- ・ロケーション評価平均値(良い1～7悪い): 4.5

(調査票コメント)

- ・倒木が気になりました。道が荒れている。
- ・自転車の体力レベルが違って一緒に走って楽しめる良い区間。
- ・楽なコースの後に上り坂が続き、自分の体力にチャレンジ出来て面白かった。
- ・太鼓体験ができるといい。
- ・坂がきつい。HIGHモードでないと体力がきつい。(同意見複数)

⇒この区間は3.8kmと長いうえに急な上り坂が続き、眺望もないため評価は低くなった。
⇒沢崎・木野浦線では道路上の倒木や、道路脇の草木が繁茂しているため非常に走りにくい。
⇒急登は大変ではあるがE-バイクの真価が発揮され、体力差があっても一緒に楽しめるという非常に前向きな意見もみられる。

○見どころ・ポイント

・佐渡太鼓体験交流館(通称: たたこう館)

国際的に活躍する太鼓芸能集団「鼓童」が運営する太鼓体験施設。Google Mapsで61件、Tripadvisorで11件の口コミがあり、外国人からの人気が高い。

鼓童は海外での知名度が高く、和太鼓体験というほかではできない経験が好評化の要因と考えられる。

E-バイクを利用することで簡単にアクセスできるので、外国人向けサイクリングツアーなどで立ち寄ると喜ばれるのではないか。

また、2021年5月ごろから施設内にカフェがオープンする予定であり、活用の幅が広がりそうだ。



○注意箇所

- ・沢崎鼻灯台から沢崎・木野浦線に入るところに道標など無く迷いやすい。
- ・道路上に倒木があるなど道が荒れており走行には注意が必要。



■チェックポイントF～ゴール

- ・距離: 5.2km
- ・走行時間: 16分(2月28日) / 12分(3月3日)
- ・ロケーション評価平均値(良い1~7悪い): 3.8

(調査票コメント)

- ・下りが寒い。日陰で寒かった。(同意見複数)
- ・特に見どころはなかった。景色はいまいち。(同意見複数)
- ・小木の街並みを見ると良いかも。
- ・下りが多くて楽。
- ・スピード感が面白い。
- ・下りはスピードに気を付けないといけない。
- ・下りでもディスクブレーキなので余裕をもって下れた。

⇒下り基調で雑木林に囲まれた日陰の区間なので冬場に走るには寒い。見どころもあまりなく評価は伸びなかった。(暑い時期での林間コースとして再評価が必要。)
⇒下りでスピードが出がちなので注意が必要。
⇒小木の街並みを見てみたいとの声があった。行きと帰りでルートを変えたり、小木の細い路地に入ってみるなど自転車だからこそできる方法で街並みを楽しむのも良い。

○見どころ・ポイント
林間コース

○注意箇所

- ・下り坂が続くのでスピードの出しすぎに注意。
- ・木陰のため想像以上に体が冷えやすいので、調整できる服装が必要になる。

◇まとめ・コース全体を通して

- ・距離：17.8km
- ・走行時間：1時間16分(2月28日) / 1時間5分(3月3日)
- ・コース全体を通してのロケーション評価平均値(良い1~7悪い): 2.4

(調査票コメント)

- ・E-バイクだと走ることそのものを楽しめる。地域消費に繋がるコースを作りたい。
- ・車では見逃してしまう景色も自転車ならゆっくり見ることができる。電動アシストで全く疲れないので楽しい。
- ・運動神経の良くない私でも簡単に完走できる。
- ・適度にアップダウンがあり、見どころもたくさんあり良いコース。
- ・全体にはロケーションが良いところが多い。
- ・矢島経島、宿根木、長者ヶ橋、たたこう館など立ち寄りどころがあり良いコース。
- ・景色が最高、やっぱり佐渡は大自然がいい。
- ・ロケーションはスタートから沢崎灯台まで良かった。海岸は素晴らしい。海岸が開けるポイントは気持ちよく走れた。(同意見複数)
- ・E~Gは眺めがなく飽きてしまうので逆回りがいいかも。
- ・自転車利用者に対して特別な観光スポットクーポンがあればいい。
- ・景色を楽しむポイントやカフェなどゆっくりできるポイントを案内できればとても良い。
- ・ガイドが立ち寄り所を解説してくれるとリピーターも楽しめる。
- ・バイクにドリンクホルダーがあればいい。

⇒アシスト効果で楽に走行でき景色を楽しむ余裕ができるとの意見があった。

時間・体力面でゆとりができるので、観光客はより多くの施設に立ち寄ったり飲食できるなどのメリットがある。こうした消費が地域経済の好循環に繋がることが期待される。

このような消費を促すためにも、コメントにあるようにクーポンの発行やガイドツアーなどの施策は有効だと思われる。

⇒大自然を感じられる海岸の景色、海を見ながら走行できる爽快感、宿根木の歴史や太鼓体験という日本文化体験など、魅力の詰まったコースなので全体としてのロケーション評価は非常に高かった。

しかしながら、チェックポイントE以降は道が荒れていたり眺めがないことで評価が低かった。

コース前半に見どころが集中したことから、参加者は「尻すぼみ」な印象を受けてしまった可能性があるため、今回の逆回りで走行する方が好印象になる可能性がある。

⇒景色やカフェなどポイントの案内が欲しいとの意見があるが、今回参考にした「佐渡サイクリングマップ」(佐渡観光交流機構)に詳細な地図と観光案内等がまとまっているので、これを活用することが重要と思われる。

⇒火山活動の影響を受けた小木半島には多くのジオサイトが存在する。その景観は地質学愛好家はもちろんそれ以外の方々も楽しめるものなので、E-バイクを利用したジオパークツアーといった活用方法も考えられる。

③外国人調査員の評価

(外国人調査員のコメント)

○チェックポイントC(宿根木)

- ・景色最高。
- ・宿根木の中を散歩したい。自転車+宿根木・千石船など観光施設の組み合わせコースを作ると売れるかも。

○チェックポイントD(長者ヶ橋)

- ・景色がきれい、海が最高。コーヒーを飲みながらゆっくりしたい。
- ・ロケーションが一番いい。

○チェックポイントE(沢崎鼻灯台)

- ・「岩を見て」の案内が欲しい。
- ⇒灯台下に岩場の良い景観があるが、案内板が無いので見逃してしまう。

○チェックポイントF(太鼓体験交流館)

- ・太鼓の体験ができればいいと思う。
- ・楽なコースの後、上り坂が続いて自分の体力にチャレンジ出来て面白かった。

○全体を通して

- ・景色最高、やっぱり佐渡は大自然がいい。
- ・コーヒーショップみたいな場所や案内が増えてほしい。
- ・外国人は道が分からない人が多いので、自転車用のスマホスタンドがあれば便利だと思う。
- ・(自転車の)多言語の操作ガイドがあればいい。
- ・自転車を借りるお客様に対して特別な観光クーポンがあればいい。
- ・ハンドルが低すぎて、調整できなくて背の高い人には乗りにくいと思う。首が痛くなる。
- ・アシストが強くて、ギアチェンジもついているのでうまく利用すれば楽に乗れる。

⇒佐渡の自然を評価する声があり、海や田んぼの景観を楽しめる当コースは外国人観光客にとって魅力的に映ると思われる。
景観と併せて、太鼓体験や宿根木集落、たらい舟の磯ねぎ漁など佐渡の歴史・文化を体験できる多くのポイントがあることも、外国人観光客へのアピールになる。

⇒今回使用したE-バイクは対象身長が159～178cmとなっており、身長の高い外国人観光客には可能性があるが、サドルの調整や、荷物を運べるカゴ・キャリアを利用し体への負担を減らすなどの対応が考えられる。

⇒外国人観光客にとっては道が分かりずらく観光しにくい可能性があるため、コメントにあるようにスマホスタンドの利用は非常に有効と思われる。
一方、ルート上の標識等の多くは英語表記・ローマ字表記されており、観光案内所にも英語の地図が設置されているので多くの場合はこれらで対応できると考えられる。



(標識はローマ字併記)

◇まとめ

・E-バイクのアシストは疲労軽減に非常に効果的で、急な坂も難なく上ることができる。
E-バイクの走行性能について否定的な意見はほとんどみられなかった。

⇒起伏の大きい小木半島の観光に適している。

⇒体力面で余裕ができるので、走行中の景観や同行者との会話より楽しむことができる。

観光客にとってより良い経験・思い出に繋がると思われる。

⇒時間にゆとりが生まれることでより長時間観光施設に滞在することも可能になり、地域経済への波及効果が期待される。

⇒より気軽に長距離移動ができるので、ジオパークツアー他、様々な面での活用が可能である。

・E-バイクのバッテリー性能は当コース(17.8km)を走行するのに十分である。

⇒最もアシストの強いHIGHモードでも最大48%のバッテリー消費

⇒経年劣化によるバッテリー性能の低下には注意が必要

・当コースは佐渡の自然・文化・歴史を楽しむことができる見どころの多いものであり、国内外の観光客にアピールできると想定される。

⇒海岸線の景観の評価が高い。

⇒海岸線から離れた眺めのない区間(チェックポイントE以降)は評価が下がる傾向にあるので、プラン作りに工夫が必要。

・外国人観光客に対しては、既存の案内や地図で十分対応可能とも考えられるが、より快適に観光をしてもらえるよう、外国語案内のさらなる充実や外国人向けツアー商品の開発なども今後必要になると思われる。